



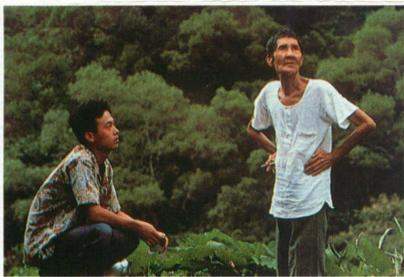
戀戀風塵 DUST IN THE WIND

れんれんふうじん

# 恋恋風塵

侯孝賢「ホウシャオシエン」監督作品

風塵のように散つても なお  
 思いこがれる愛がある  
 いま全世界が注目する侯孝賢監督の  
 胸にせまる抒情 忘れえぬ感動の傑作！



87年ヘルリン映画祭フौरラム招待作品  
 ロンドン映画祭招待作品

監督 侯孝賢 脚本 呉念真・宋天文  
 撮影 李屏賓 美術 劉志華・朱天文  
 音楽 陳明章 編集 廖松 製作進行 李憲章  
 振興 陳坤 製作 徐國良 提供 林登飛  
 スーパーバイヤー 許新枝  
 出品 文華 印刷 李天霖  
 林福海 芳林 于茂  
 台湾映画 1987年中央電影公司台北製作  
 411センチカラー  
 COOPERATION MOTION PICTURE  
 CORPORATION 1987

フランス映画社配給  
 ハウシリース作品





「恋恋風塵(れんれんふうじん)」は近年の世界的映画でつくられた最も美しい純愛映画だといえるだろう。

風のゆくもり、空気の色、光のあたたかさを濃く深く繊細に描いて心をとらえる天才的な映画作家が台湾に在るといふ噂が欧米の映画祭で熱く語られはじめたのは80年代のなかばからだ。名前は侯孝賢(ホウ・シャオシェン)。

83年「風櫃から来た人」(風櫃來的人 THE BOYS FROM FENGKUI)、84年「おじいちゃんこの夏」(冬の假期、A SUMMER AT GRANDPAS)、85年「童年往事—時の流れ」(童年往事 THE TIME TO LIVE AND THE TIME TO DIE)と3年連続で発表した少年時代からの成長をテーマとする3部作で年々国際的な注目が高まり、87年長篇第7作「恋恋風塵」(戀戀風塵、DUST IN THE WIND)で評価を決定的にした。

88年にオランダのロッテルダム映画祭が行なった特別アンケート「明日の世界の映画作家」ではウィム・ヴェンダース、ジム・ジャームッシュに続いて第3位に侯孝賢の名が登場する。



日本では、85年にびあ・フィルム・フェスティバルで『風櫃から来た人』が紹介され、東京でのアジア太平洋映画祭で「おじいちゃんこの夏」が監督賞を受賞、88年に「童年往事—時の流れ」が一般公開され、「恋恋風塵」に次ぐ87年作品「ナイルの娘」は劇場公開を待ちきれずにビデオ発売が先行。89年作品「悲情城市」が、これまで大映画祭では侯孝賢作品としても台湾映画としても未参加だったコンペティション部門への正式出品を、ヴェネチア映画祭で実現したばかりか、初登場で金獅子賞グランプリを獲得して世界的に大きな話題になったばかりだ。

侯孝賢は1947年4月8日広東省の梅県生まれ。1才で家族とともに台湾に移った。南部の鳳山に育ち、12才の時に父を失い、6年後に母を失った。映画は幼い時から大好きだったが、映画づくりを志したのは兵役の間だったという。台北の国立芸術学院を卒業して映画界に入り脚本を書きまくった。「恋恋風塵」の中で野外で上映される、何羽ものあひるの登場がほほえましい映画は、その頃の師である李行監督の『養鴨人家』の一場面だ。

侯 孝賢監督作品  
戀戀風塵 DUST IN THE WIND

# 恋恋風塵

れんれんふうじん  
1989年ベルリン国際映画祭・フォーラム部門招待作品  
香港国際映画祭招待作品  
ロンドン国際映画祭招待作品  
ナント三大陸映画祭・最優秀撮影賞、最優秀音楽賞

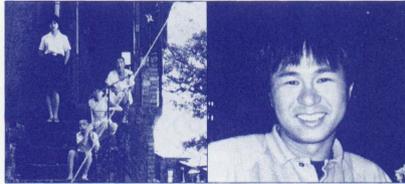
フランス映画社配給  
パウ・シリーズ作品

少年は兵役の知らせを受けて青春との訣別を知る。少年ワンは、台北の東50キロほどの鉱山の村で、隣同志の少女ホンと兄妹のように育った。

家を思つてワンが台北に働きに出た翌年、ホンもワンを追うように台北にきた。台北は若い仲間達の街だ。映画館に住みこみて看板描きの修業をしている陽気なホンとワン。ホンをひきとる洋裁店のイン。兵役に出るシユン。ワンとホンの楽しみは里帰りだが、1年めはホンが帰れず、2年めは、オートバイを盗まれた夏、ワンに兵役の知らせがくる。ホンは、金門島からワンが毎日自分に手紙を書いてくれるよう、いくつもの封筒をワンに託して見送つた。

金門島のワンに毎日ホンが書く手紙が届く。あなたの兵役が終わるまであと37日。数えるのが遠くになりそうです……。

風塵のように散つても、なお、思いこがれる愛がある……。



【スタッフ】  
監督……………侯 孝賢(ホウ・シャオシェン)  
脚本……………呉 念真(ウー・ニエンゼン) 朱 天文(チュウ・ティエンウェン)  
撮影……………李 屏賓(リー・ピンピン)  
美術……………劉 志華(リウ・ジーホア) 林 鉅(リン・ジュイ)  
音楽……………陳 明章(チェン・ミンチャン)  
編集……………廖 慶松(リャウ・チンソン) 廖 憲章(リャウ・シェンジャン)  
製作進行……………張 華坤(ジャン・ホアクン) 徐 國良(シュ・グオリヤン)  
製作……………徐 國良(シュ・グオリヤン)  
【キャスト】  
ワン……………王 晶文(ワン・ジンウエン)  
ホンの祖父……………辛 樹芬(シン・シュフエン) 李 天爵(リー・ティエンル)  
ワンの父……………林 騰(リン・ヤン) 梅 芳(メイ・ファン)  
ワンの母……………梅 芳(メイ・ファン)  
ホンの母……………梅 芳(メイ・ファン)  
ホンの母……………梅 芳(メイ・ファン)  
運送屋の親方……………陳 淑芳(チェン・シュフファン) 賴 德南(ライ・ドクナン)  
ホンチェン……………林 于竝(リン・ユイピン) 林 于竝(リン・ユイピン)  
イン……………楊 麗音(ヤン・リイイン) 楊 麗音(ヤン・リイイン)  
郵便配達屋の青年……………施 明雄(シー・ミンヤン) 施 明雄(シー・ミンヤン)  
台湾映画・1987年 中央電影公司(台北)製作/イーストマンカラー/スクリーンサイズ(1×1.85)/1時間50分/全6巻・3.015m/日本語字幕 田村志津枝/宣伝デザイン 小笠原正勝  
©CENTRAL MOTION PICTURE CORPORATION 1987

パルテノン多摩シネサロン  
'90 8/25(土)  
発売日:7月13日金

パルテノン多摩/小ホール  
京王線・小田急線 多摩センター駅前  
発売日:7月13日金

時間 第1回▶10:30 第2回▶13:00 第3回▶16:30 第4回▶19:00  
入場料 ●前売 一般1,200円 シネメイト1,000円 ●当日 一般1,500円 シネメイト1,200円  
発売所:チケットパルテノン(パルテノン多摩2F)/チケットセンション山本店(クリナート永山3F)/京王インフォメーション「カインド」  
聖蹟桜ヶ丘店・多摩センター店/京王サービスセンター橋本 (注)電話予約はできませんので、直接窓口にお知らせ下さい。  
お問い合わせ先 ☎0423-76-8181 主催:財団法人多摩市文化振興財団 〒206 多摩市落合2-35 ☎0423-75-1414